

『揚子江旅』

～古代の川に関するの考え～

ワインボトルと共に、
私は時間の川を漂う
遠い山々や
枝垂れかかる木々は過ぎてゆく、
私はやがてに海へと流れ着く。

この歴史は深いようで、
沈泥が厚い。
それにもかかわらず、水は流れます。
すべての存在は単なるブリップです。

揚子江を眺めて、
川はくすんだ青緑、暗い紺碧、
青の色合いを通して話しているようです。

しばらくは煙突を無視して、
どんぶらこ、どんぶらこ、
長江…見る…めまいがする…海。

- T Newfields (和訳: テレサさん)

開始: 2002年名古屋市・完成: 2022年横浜市

